



しらやま

白山小学校だより No.19

令和2年9月7日

☆☆☆ 研究授業が行われました ☆☆☆



本校では、「学ぶ楽しさを味わい、主体的に学ぶ子どもの育成」をテーマとした指導の研究に、特に道徳の授業に力を入れて取り組んでいます。4日（金）には、1年担任の茨山教諭が「おかしくないかな」という資料を使って道徳の授業を行いました。公園や学校で周りの人が困ることをしている児童の絵を見て、その児童や周りの人の気持ちを話し合い、みんなのものや場所を使うときにはどうしたらよいのかを考えました。どの子ども積極的に自分の意見を発表し、いくら楽しそうなことでもやってはいけないことには心のブレーキをかけることや、正しく使うことでみんなが気持ちよく生活できることを感じる事ができたようです。「としよしつは みんながつかうもの だからしづかにしよう」「どうろには らくがきしない おやくそく」など、みんなが使う場所のきまりをカルタにすることもできていました。学校が再開されてから3か月余りですが、今日の意欲的な姿から1年生の子どもたちの成長が伝わってきました。



「こうのとりの大冒険」(9/1)

10月10日の校内体育大会へ向けて、1年生と2年生が元気よく練習をしていました。本番が楽しみです。

「身近なものの形・色」

3年生が校舎周り葉や枝などを集めて作品を作りました。自然の形・色のよさやおもしろさを感じることができたようです。

「作家で広げる

わたしたちの読書」

5年生が作家に着目した紹介カードを作り、本と一緒に図書スペースに展示してあります。

送られてきた 真新しい秋を
両手いっぱいにかかえて。

音読詩集『はばたき』より

あけびに きのこと。

かきに くり

あけびのなる山の坂道をかけています。

おいしいさんの住む田舎

もう ぼくの心は

きのこに あけび。

くりにかき

運んできてくれました。

ダンボール 一ぱいの秋を

宅急便が

秋

永窪 綾子

